

文化庁委託「令和5年度現職日本語教師研修プログラム普及事業」  
地域日本語教育コーディネーター研修  
実施・募集要項

一般社団法人 多文化社会専門職機構

## 1. 目的

地方公共団体、国際交流協会、地域の日本語教室等で日本語教育プログラムの編成・実施及び日本語教育プログラムの実施に必要な地域の関係機関との連携・調整に携わっている人を対象に「地域日本語教育コーディネーター」（「5. 対象者」で定める人をいう。）に必要な資質・能力について理解を深め、その向上を図ることを目的とした研修を開催します。

## 2. 主催

一般社団法人 多文化社会専門職機構（略称：TaSSK／タスク）

本研修は、文化庁「令和5年度日本語教育人材の研修プログラム普及事業」を受託し実施します。

## 3. 実施地域

東日本地域または西日本地域のいずれかを選択

- ※ 夏期研修Ⅱ、冬期研修はオンライン（ビデオ会議システム Zoom）で実施します。秋期研修、フォローアップ研修は対面で実施します。
- ※ 基本的に申込者の実践地域に基づき、東日本地域または西日本地域のいずれかを選択してください。ただし、実施スケジュール（「4. 研修期間」参照）での受講が難しいなどの事情がある場合には、その限りではありません。

## 4. 研修期間

東日本地域・西日本地域で各3日間及び動画視聴

（対面またはオンラインによる研修3日間、及び講義の動画配信視聴が2日間相当）

### ○ 東日本地域

夏期研修Ⅰ 【必修】	期間： 令和5（2023）年7月20日（木）～8月20日（日） 内容： オンデマンド配信による講義動画の視聴 ※ 東日本・西日本地域共通
夏期研修Ⅱ 【必修】	期間： 令和5（2023）年8月28日（月）10：00-17：00 場所： オンライン（ビデオ会議システムを利用）
実践活動期間	期間： 令和5（2023）年9月～令和6（2024）年2月 内容： 各自の課題設定・実践活動計画に基づく活動期間
フォローアップ研修※	期間： 令和5（2023）年10月20日（金）10：30-17：00 場所： TKP 田町カンファレンスセンター（東京都港区芝）
秋期研修 【必修】	期間： 令和5（2023）年11月10日（金）10：00-17：00 場所： 神田カンファレンス・ルーム（東京都千代田区神田錦町）
冬期研修 【必修】	期間： 令和6（2024）年2月5日（月）10：00-17：00 場所： オンライン（ビデオ会議システムを利用）

※ フォローアップ研修の参加は必須ではありませんが、原則として参加を推奨します。

## ○ 西日本地域

夏期研修Ⅰ 【必修】	期間： 令和5（2023）年7月20日（木）～8月20日（日） 内容： オンデマンド配信による講義動画の視聴 ※ 東日本・西日本地域共通
夏期研修Ⅱ 【必修】	期間： 令和5（2023）年8月30日（水）10:00-17:00 場所： オンライン（ビデオ会議システムを利用）
実践活動期間	期間： 令和5（2023）年9月～令和6（2024）年2月 内容： 各自の課題設定・実践活動計画に基づく活動期間
フォローアップ研修※	期間： 令和5（2023）年10月20日（金）10:30-17:00 場所： TKP 田町カンファレンスセンター（東京都港区芝）
秋期研修 【必修】	期間： 令和5（2023）年11月17日（金）10:00-17:00 場所： KITENA 新大阪（大阪府大阪市東淀川区東中島）
冬期研修 【必修】	期間： 令和6（2024）年2月6日（火）10:00-17:00 場所： オンライン（ビデオ会議システムを利用）

※ フォローアップ研修の参加は必須ではありませんが、原則として参加を推奨します。

## 5. 対象者

次の全てに該当する人。地方公共団体（都道府県及び市区町村（教育委員会を含む））、国際交流協会※、または社会福祉協議会の推薦を受けている人を優先します。

- ① 日本語教育に関する専門的な教育を受けていること。
- ② 地域日本語教育分野での経験を有すること（1年以上を目安とする）。
- ③ 「4. 研修期間」で【必修】とする全ての日程を受講可能であること（フォローアップ研修を除く）。
- ④ 地方公共団体・国際交流協会・大学、日本語教育機関、NPO法人等において日本語教育プログラムの編成及び実践に携わっていること。
- ⑤ 地域日本語教育プログラムの実施に必要な地域の関係機関との調整に携わっていること。
- ⑥ 研修への参加に当たっては、実践活動の場を有することを必須とし、本研修の実践活動について事前に代表者及び関係者の承諾を得られること。

※ ここで言う「国際交流協会」とは、①地方公共団体が設立した、②地方公共団体が事務局を務める、③地方公共団体から協会運営の委託等を受けている、④地方公共団体の施設の指定管理を行う法人及び団体のいずれかに該当し、かつ地域における国際交流、多文化共生、外国人支援等に関する事業を行うものを指します。

なお、平成22～令和4年度「地域日本語教育コーディネーター研修」を受講した人は、夏期研修Ⅰ（オンデマンド配信による講義動画）の視聴およびフォローアップ研修（「4. 研修期間」参照）への参加を申込みすることができます。（申込み方法等については、後日お知らせします。）

## 6. 定員

原則として東日本地域・西日本地域で各30名（本研修の目的等を考慮の上、選考を行います。）

## 7. 内容

別紙のとおり

## 8. 経費負担

本研修の受講は無料ですが、研修受講に要する旅費、滞在費等は受講者の負担となります。

## 9. 修了要件等

- ・ 修了要件は下記のとおりです。
  - (1) 【必修】と定める研修への8割以上の出席。
  - (2) 実践活動計画、実践活動報告書等の研修で求める資料の提出。
  - (3) 研修期間中に求める振り返りフォームの提出。
- ・ 修了者には修了証を授与するとともに、修了者一覧を文化庁および多文化社会専門職機構ウェブサイトに掲載します。

## 10. 申込み方法

- ・ 受講申込者は受講申込書(様式1-1)を作成し、受講申込者本人がEメールで下記まで提出してください。その際に、推薦団体がある場合には、推薦団体の担当者のEメールアドレスをCCに含めてください。なお、受講申込書はWordファイルのままEメールに添付し、送信してください。
- ・ 推薦団体がある場合には、推薦団体の担当者が推薦書(様式1-2)を作成の上、Eメールで下記まで提出してください。なお、推薦書はWordファイルのままEメールに添付し、送信してください。
- ・ 締切りは令和5(2023)年6月30日(金)18時必着です。受講可否については、7月18日(火)以降にEメールにて受講申込者に通知します。
- ・ 応募時に記載された個人情報は、本研修実施のためにのみ利用いたします。

## 11. 応募書類

地域日本語教育コーディネーター研修受講申込書(様式1-1) ……受講申込者本人が提出

地域日本語教育コーディネーター研修推薦書(様式1-2) ……推薦団体が提出(推薦団体がある場合)

## 12. 問合せ・申込み先

一般社団法人 多文化社会専門職機構(担当:有田・吉田)

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-3 神田古書センター6F内

Email: nihongo@tassk.org

TEL: 090-9608-5426

※ この電話番号は、文化庁委託「令和5年度現職日本語教師研修プログラム普及事業」に関する多文化社会専門職機構の窓口専用番号です。

本研修に関するお問合せは、基本的にEメールにてお願いいたします。電話でのお問合せには、回答まで時間を要する場合や、Eメールで回答させていただく場合があります。

## 研修内容

## 夏期研修 I (オンデマンド配信による講義動画視聴)

夏期 I	令和 5 (2023) 年 7 月 20 日 (木) ~8 月 20 日 (日) オンデマンド配信による講義動画の視聴	単位 時間
講義 1	多文化共生施策としての地域日本語教育 日本語教育に関わる国及び地方公共団体の施策を把握する。 講師：文化庁国語課	1
講義 2	出入国管理施策及び多文化共生施策 在留外国人施策・入国管理制度・教育行政と、外国人住民の国籍・在留資格等の動向を把握する。 講師：調整中 (追ってお知らせします)	1
講義 3	地域日本語教育コーディネーターの役割 地域日本語教育におけるネットワークング、コミュニティデザイン、ファシリテーションについて考察する。 講師：菊池哲佳 (多文化社会専門職機構・仙台観光国際協会)	1
講義 4	地域日本語教育のプログラムデザイン①ー教育目標・学習活動・人 プログラムにおいて何を目指し、だれとどのような学習活動を行うのか、事例をとおして考察する。 講師：萬浪絵理 (多文化社会専門職機構・千葉市国際交流協会・国際活動市民中心)	1
講義 5	地域日本語教育のプログラムデザイン②ー生活 Cando に基づく日本語教育プログラムデザイン 生活 Cando に基づく日本語教育プログラムデザインについて学ぶ。 講師：調整中 (追ってお知らせします)	1
講義 6	地域日本語教育のプログラムデザイン③ー地域日本語教育における教材活用 地域日本語教育における教材について、オンライン学習で活用できる教材について紹介する。 講師：調整中 (追ってお知らせします)	1
講義 7	地域日本語教育のプログラムデザイン④ープログラムの点検・評価・改善 地域日本語教育プログラムの点検・評価・改善について考察する。 講師：札幌寛子 (国際高等専門学校)	1
講義 8	日本語教育に関わる人材の育成① 日本語教育人材の役割・専門性について整理する。また、日本語教育人材に対する研修の企画・立案に必要な観点について学ぶ。 講師：伊東祐郎 (多文化社会専門職機構・国際教養大学専門職大学院)	1
講義 9	日本語教育に関わる人材の育成② 日本語教育人材育成の取組みの視点と、地域日本語教育におけるコーディネーターとの連携について学ぶ。 講師：調整中 (追ってお知らせします)	1
講義 10	活動と広報①ー情報公開・発信 地域日本語教育活動における個人情報などの観点からの留意点、著作権に関する情報を学ぶ。 講師：調整中 (追ってお知らせします)	1
講義 11	活動と広報②ー地域日本語教育における広報 地域日本語教育活動に必要な効果的な広報について学ぶ。 講師：土井佳彦 (多文化社会専門職機構・多文化共生リソースセンター東海)	1

## ○ 東日本地域

<b>夏期研修Ⅱ</b>	<b>令和5(2023)年08月28日(月)10:00-17:00</b>
演習1	<ul style="list-style-type: none"> <li>先進的な地域日本語教育コーディネーターによる実践事例を基に、グループ毎に課題設定等や計画についての分析を行う。</li> <li>地域課題の解決に向けて地域日本語教育プログラムの策定を含めた実践計画を作成する。</li> </ul>
<b>フォローアップ研修</b>	<b>令和5(2023)年10月20日(金)10:30-17:00</b>
講義・演習	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域日本語教育に関する国の施策の方向性などについて理解を深める。</li> <li>演習を通じて修了年度や地域を超えたネットワーキングを図る。</li> </ul>
<b>秋期研修</b>	<b>令和5(2023)年11月10日(金)10:00-17:00</b>
演習2	<ul style="list-style-type: none"> <li>演習1(夏期研修Ⅱ)で設定した実践課題について中間報告を行い、他の受講生やファシリテーターからコメント・助言を受ける。</li> <li>活動への取り組み方やコーディネーターの役割について再度見直しを行った上で、実践の継続及び冬期研修で発表を行うための準備をする。</li> </ul>
<b>冬期研修</b>	<b>令和6(2024)年02月05日(月)10:00-17:00</b>
演習3	<ul style="list-style-type: none"> <li>実践活動の成果を発表し、相互に学ぶ。</li> <li>演習1(夏期研修Ⅰ)、実践活動、演習2(秋期研修)を通して学んだコーディネーターに必要な能力について理解を深める。</li> </ul>

進行：菊池哲佳・高柳香代・土井佳彦・長尾晴香・萬浪絵理(多文化社会専門職機構)

※ 日程の細部は事情により変更する場合があります。

## ○ 西日本地域

<b>夏期研修Ⅱ</b>	<b>令和5(2023)年08月30日(水)10:00-17:00</b>
演習1	<ul style="list-style-type: none"> <li>先進的な地域日本語教育コーディネーターによる実践事例を基に、グループ毎に課題設定等や計画についての分析を行う。</li> <li>地域課題の解決に向けて地域日本語教育プログラムの策定を含めた実践計画を作成する。</li> </ul>
<b>フォローアップ研修</b>	<b>令和5(2023)年10月20日(金)10:30-17:00</b>
講義・演習	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域日本語教育に関する国の施策の方向性などについて理解を深める。</li> <li>演習を通じて修了年度や地域を超えたネットワーキングを図る。</li> </ul>
<b>秋期研修</b>	<b>令和5(2023)年11月17日(金)10:00-17:00</b>
演習2	<ul style="list-style-type: none"> <li>演習1(夏期研修Ⅱ)で設定した実践課題について中間報告を行い、他の受講生やファシリテーターからコメント・助言を受ける。</li> <li>活動への取り組み方やコーディネーターの役割について再度見直しを行った上で、実践の継続及び冬期研修で発表を行うための準備をする。</li> </ul>
<b>冬期研修</b>	<b>令和6(2024)年02月06日(火)10:00-17:00</b>
演習3	<ul style="list-style-type: none"> <li>実践活動の成果を発表し、相互に学ぶ。</li> <li>演習1(夏期研修Ⅰ)、実践活動、演習2(秋期研修)を通して学んだコーディネーターに必要な能力について理解を深める。</li> </ul>

進行：菊池哲佳・高柳香代・土井佳彦・長尾晴香・萬浪絵理(多文化社会専門職機構)

日程の細部は事情により変更する場合があります。